

対ロシア制裁下の石油市場の動向

一般財団法人日本エネルギー経済研究所

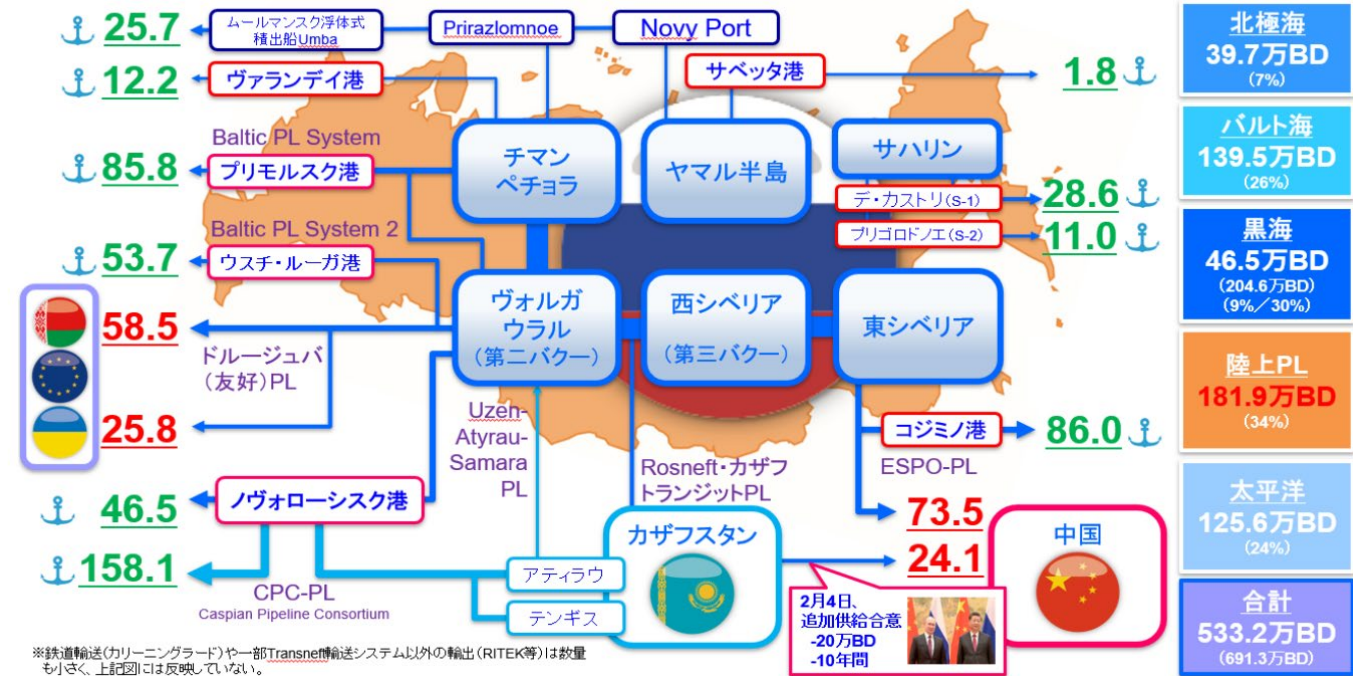
化石エネルギー・国際協力ユニット 石油グループ

森川 哲男

ロシアの石油生産・輸出

		mb/d		
		2021年平均	2023年1月	
生産量		10.9	11.2	
輸出量	原油・コンデンセート	4.6	5.1	
	石油製品	2.8	3.1	
	合計	7.4	8.2	
	内数	欧州向け	3.3	1.3
		中国向け	1.6	2.3
		インド向け	0.1	1.6
不明		0.0	0.7	

原油輸出ルート



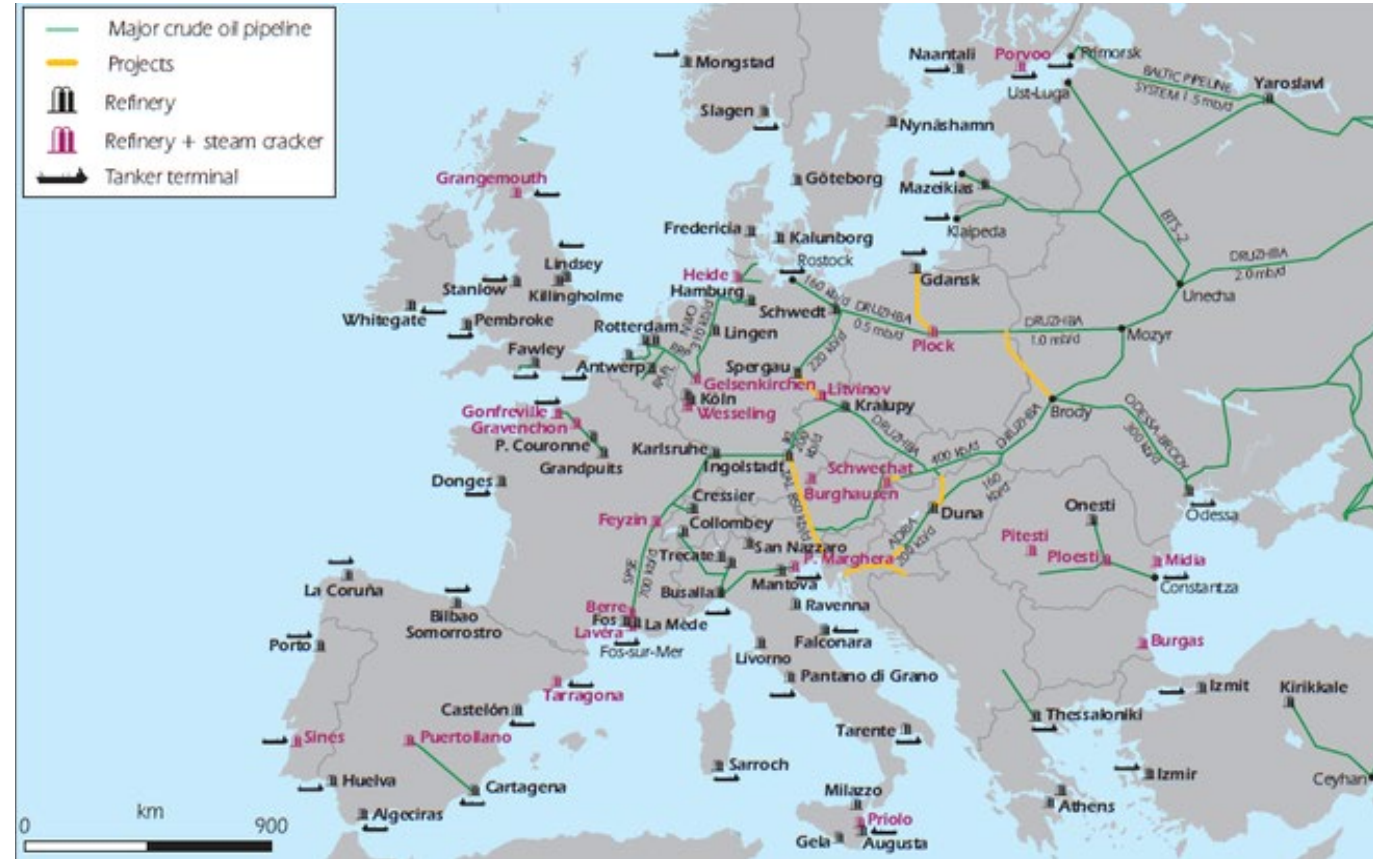
出所: IEA、JOGMEC

- 生産量・輸出量とも2021年平均を上回る。
- 中印等の輸入増が西側の輸入減少を相殺。
- 油価低下・ディスカウントによって輸出収入は減少傾向。
- これまでのところ制裁の影響は限定的。

欧州の石油需給

		mb/d			
		2021年 平均	2022年11月		
				FSU 依存度	
原油生産量		3.4	3.3	-	
輸入量	原油	ロシア	2.1	0.6	7%
		合計	8.5	9.1	-
	製品	ロシア	1.2	0.7	20%
		合計	3.5	3.5	-
需要	ナフサ	1.1	0.9	2割弱?	
	ガソリン	1.9	2.1	3%	
	ジェット/ 灯油	0.9	1.2	3%	
	軽油	6.3	6.4	42%	
	重油	0.8	0.8	17%	
	合計	13.1	13.4		

欧州の石油インフラ



出所: IEA

- 原油に比べ製品のロシア代替は遅れている。
- 需要の半分を占め、ロシア依存が高い軽油への影響が焦点。

ロシア産石油へのプライスカップ

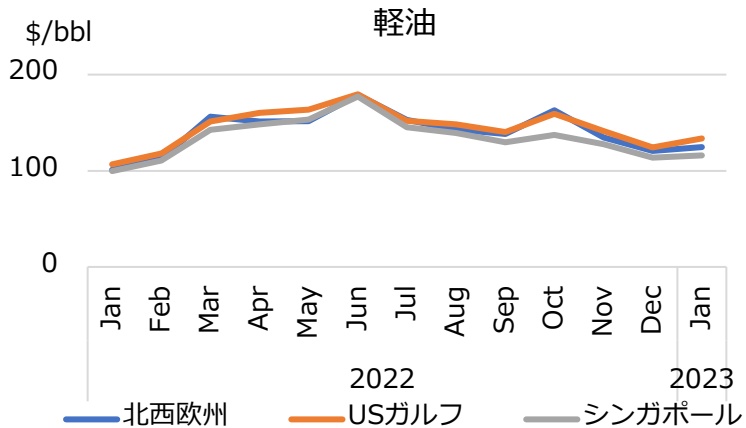
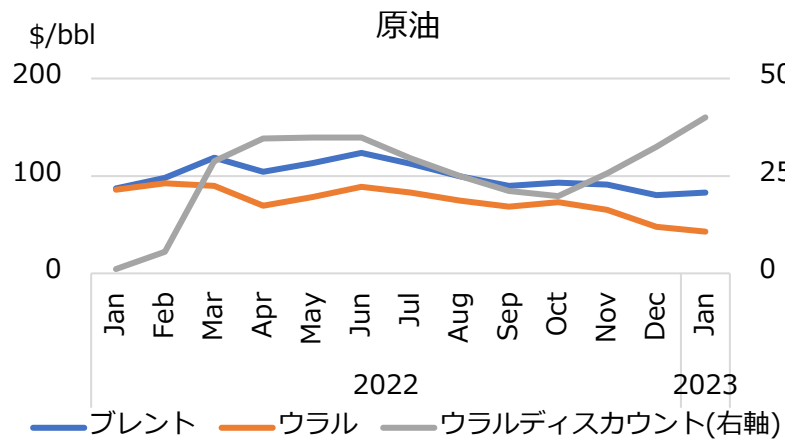
	原油	製品
参加国	G7, EU, 豪州	
導入日	2022年12月5日	2023年2月5日
上限価格	\$60/bbl	\$100/bbl (premium-to-crude) \$45/bbl (discount-to-crude)
価格改定	2ヵ月毎	明示されず
適用除外	パイプライン供給 サハリン2	ブルガリア・クロアチア (条件付き)

出所：EU

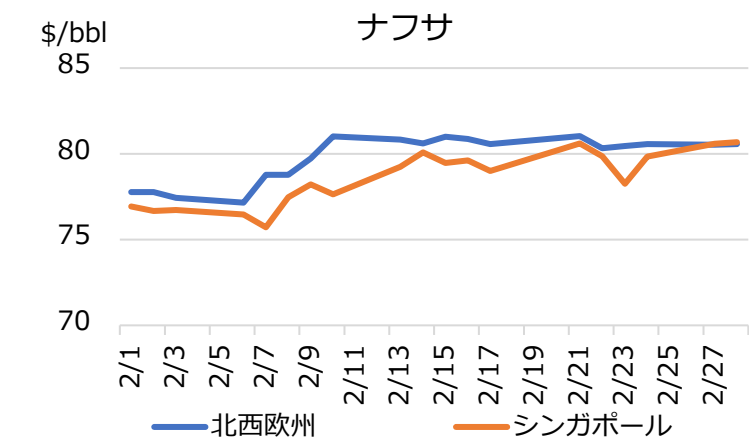
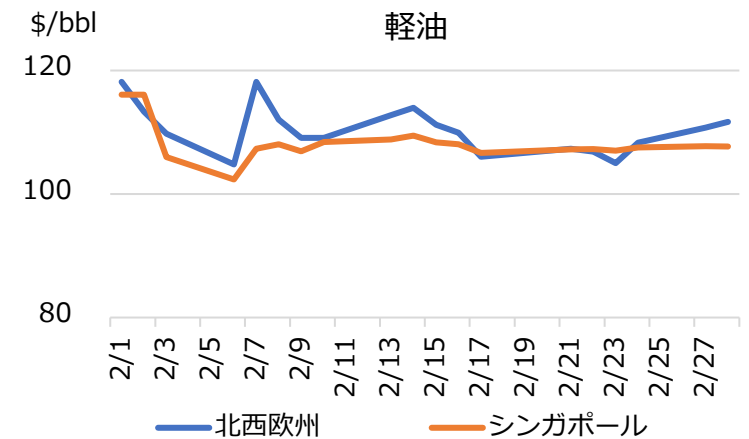
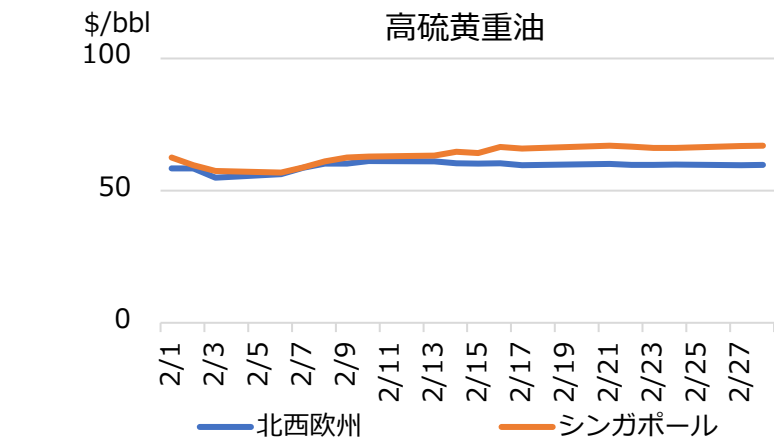
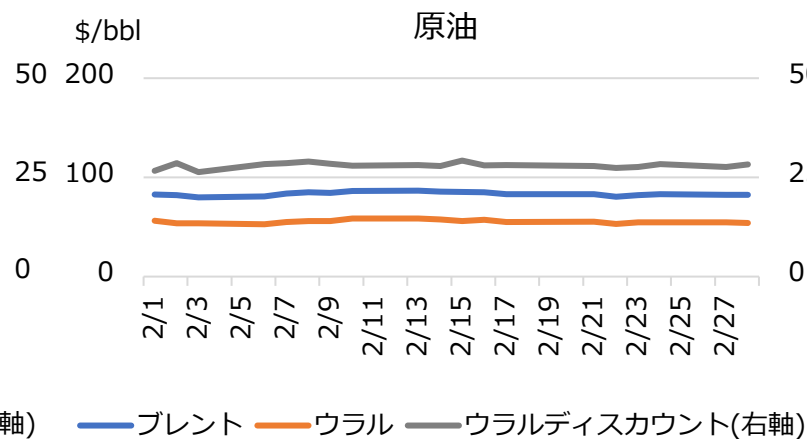
- ロシアの石油収入減少と安定供給の両立を意図。
- 原油は米国・中東・アフリカ、製品は米国・中国・インドが主要代替供給源に？
- ロシアは3月の原油生産を50万b/d、欧州側港からの原油輸出を25%（約60万b/d？）減少させる予定。
- ロシアの生産量・輸出量はロジスティクス制約によって減少へ。

石油価格

月次 (2022/1-2023/1)



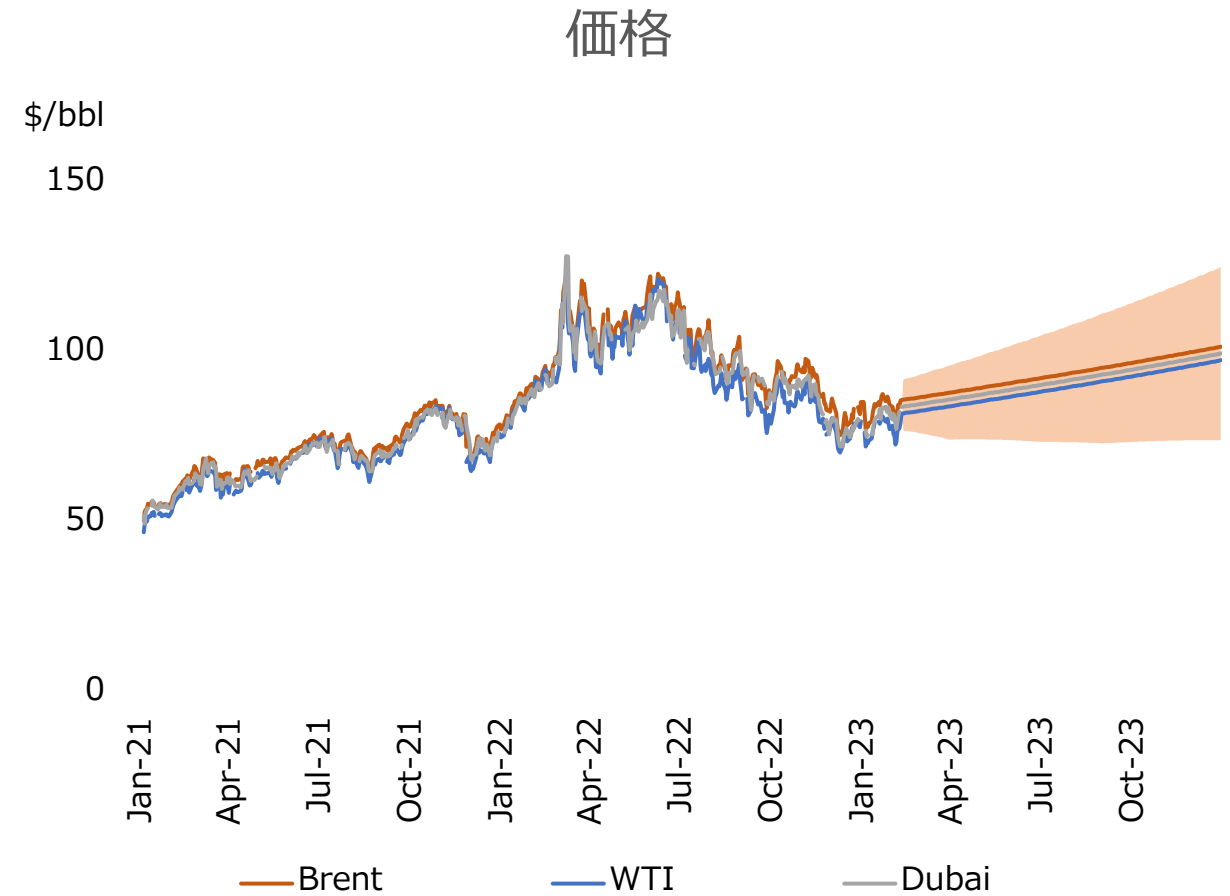
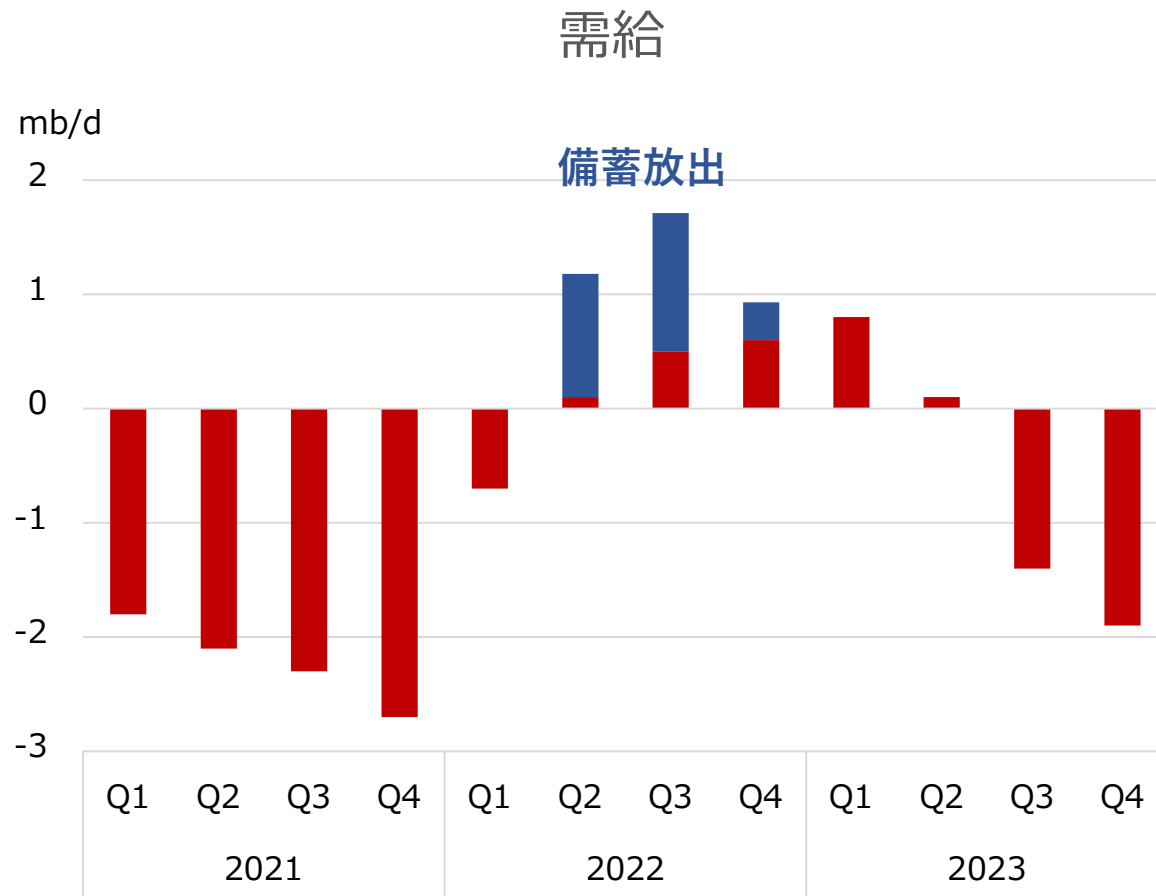
日次 (2023/2)



出所：IEA、CME

- ロシアは大幅なディスカウントで石油を販売。
- 製品価格キャップ導入後も市場は比較的落ち着いているが船積済製品への適用除外が切れる4月以降は？
- 製油所トラブルは製品需給・価格へのリスク。

2023年の石油需給・価格見通し



出所: IEA、CME、ICE、日本エネルギー経済研究所

- 需給バランスは2023年第2四半期から需要超過に転じると予測。
- 2023年のBrent価格は\$90/bblが中心水準と予想。
- マクロ経済、OPECプラス生産方針、ウクライナ情勢が大きな不確実性。